

ひまわり練習帳1の続編、特殊音編が完成！ 「ひまわり練習帳2」を 発行しました！

来日したばかりの児童生徒やその保護者への支援のため、横浜市では「日本語支援拠点施設『ひまわり』『鶴見ひまわり』」において「プレクラス（裏面参照）」で約1か月、週3日の集中的な日本語指導等を行っています。

集中的な初期日本語指導のノウハウをまとめ、プレクラスでも使用している「ひまわり練習帳1」を令和元年に発行しましたが、このたび、その続編となる「ひまわり練習帳2」（特殊音^{*}編）を発行しました。

今後は、各学校での指導に活用していきます。

※濁音、半濁音、促音、長音、拗音のひらがな



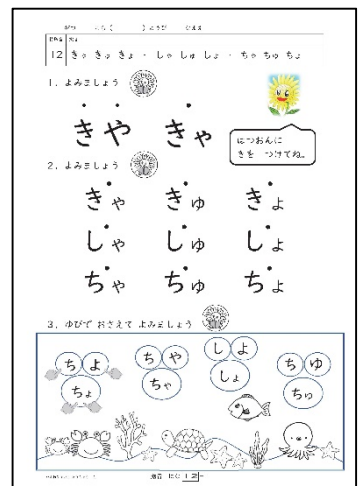
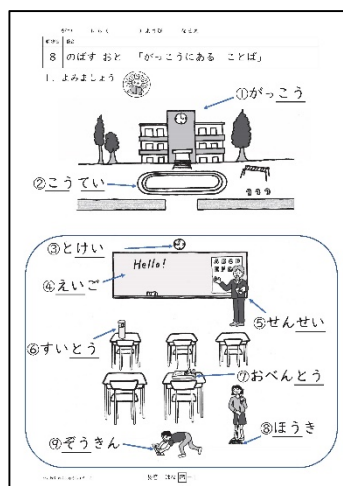
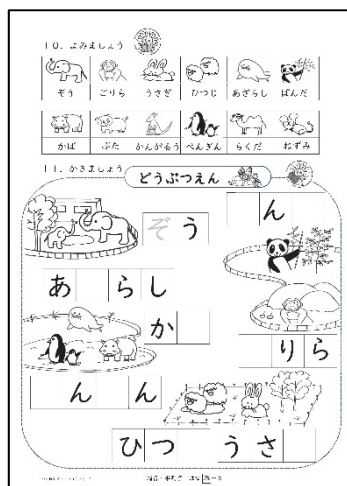
「ひまわり練習帳2」のポイント **日本語特殊音の初期指導に最適！**

- 1冊でひらがな特殊音^{*}全てを学習できる！
- 「読む」、「書く」、「聞く」、「話す」の全てに対応！
- かわいいイラストで、日本語がわからない子どもたちにも理解しやすい！
- 子どもの学年に応じて文字の書くマス大きさを変更するなど、「小学校低学年」（A4版50頁）、「小学校高学年」（A4版58頁）、「中学校」（A4版50頁）の3冊を発行！



「ひまわり練習帳1」は、学校からも「基礎の導入教材として、コンパクトにまとまっていてよい」「子どもの覚えが早い」など評価をいただいています！

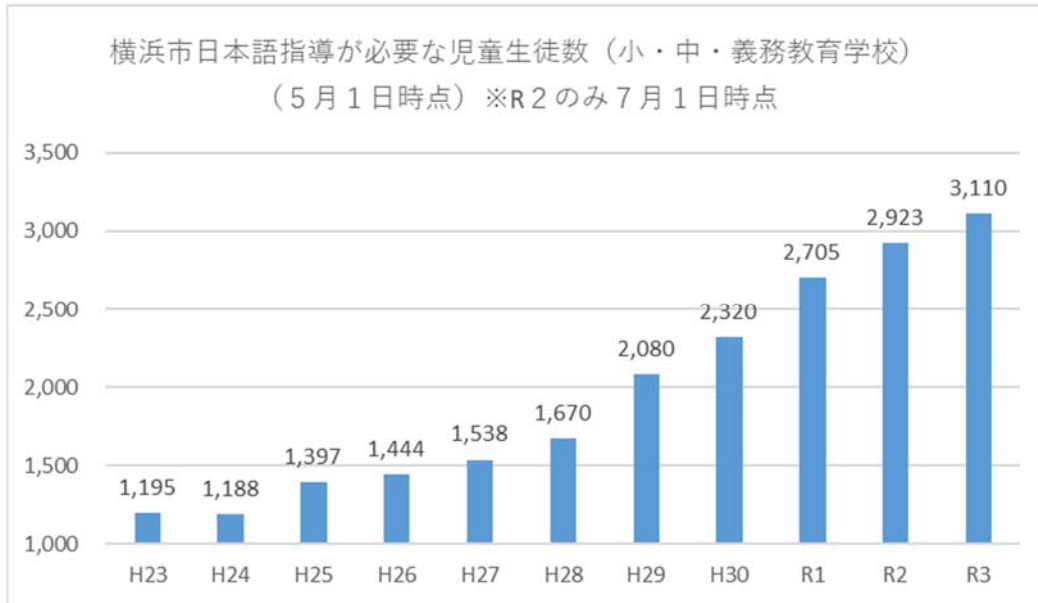
※「令和3年度日本語支援拠点施設「ひまわり」「鶴見ひまわり」に関するアンケート」より



参考 1

横浜市の状況

日本語指導が必要な児童生徒は増加傾向にあり、10年間で1,915人、約2.6倍に増加しています。



参考 2

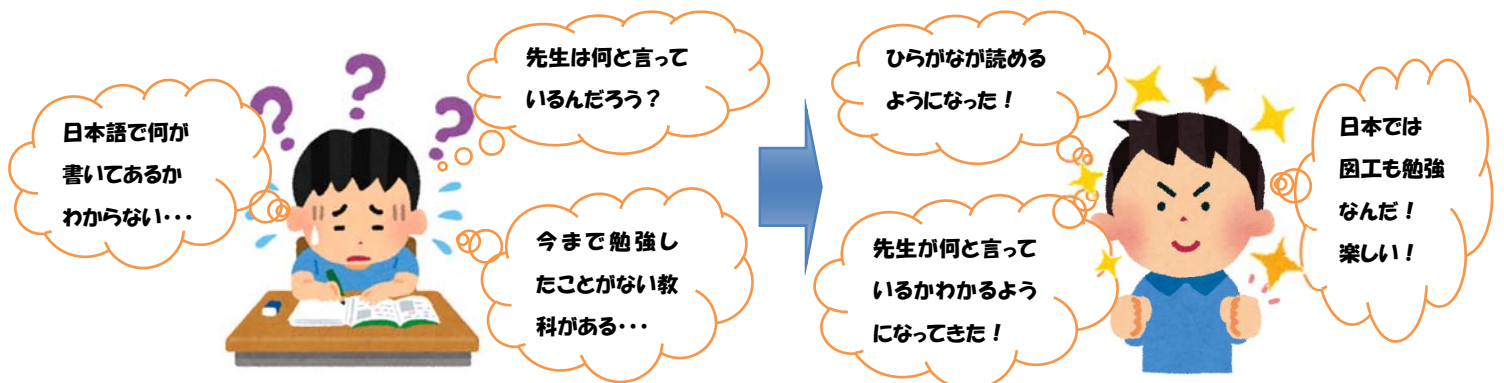
プレクラスとは…

（水曜・木曜・金曜実施）

外国から来たばかりの子ども達は日本語がわからないだけでなく、学校のルールや文化の違いなどに戸惑うことが多くあり、不安を感じています。靴を履きかえて校舎に入ること知らない、授業中トイレに行きたくなったときにどうすればいいかわからない、母国の学校にはない教科がある……。

プレクラスはそんな子ども達が学校に入った最初の1か月、週3日通う学校です。日本語を集中して勉強したり、日本の学校生活を体験したりすることで、日本の学校に早く慣れることを目的としています。

子ども達は、小学校低学年、小学校高学年、中学校の3クラス（各クラス最大20名）に分かれ、日本語指導の専門家や小学校・中学校教員経験者からの指導を受けます。



「ひまわり練習帳2」の冊子データは横浜市HPに掲載しています。

URL:<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kosodate-kyoiku/kyoiku/plankoho/kyouikukoho/default20191204.html>



お問合せ先

教育委員会事務局 小中学校企画課日本語支援担当課長 出川 進 Tel 045-671-3588